

豊かな狛江をつくる市民の会通信	豊かな狛江をつくる市民の会
豊かな狛江	狛江市東和泉 2-14-12 友恵ハイツ 103 新日本婦人の会狛江支部気付 連絡先：080-5084-1821（前土肥） 郵便振替口座番号 00140-3-727253

第 313 号（2026 年 8 月号） / 2026 年 8 月 1 日発行

市長選挙を振り返って

「こもれび狛江 市民の会」 周東三和子

「こもれび狛江 市民の会」として市長選挙について振り返りました。

・4 年前から分かっていたことであるのに、候補者選びの取り組みが遅かったのは最も悔やまれることだった。

少なくとも 1 年前には声をかけないと、仕事のやりくりなど決まってしまうて難しい。

・立川さんが決意してくれたことにより、選挙ができ、松原市政の問題点を指摘できた。これからの課題が明らかになった。

・3 人候補者が立った割に投票率が低かった。初日でも市長選挙があることを知っている人が少ないと感じた。市政に関心がない？

・松原氏の政策はこれまでの引き続きで目新しいものがない。こちらの提起した争点（市民参加、暮らし支援）は第 1 声で 4 小跡地の体育施設に関して市民参加に 3 回も言及。最終日前日に暮らし支援金の支給を X で表明など取り入れざるをえなかった。

・住民投票の署名行動に参加した人でも市長選になると、反応が今ひとつだった。普段から市政について考える場を持たないと。

・SNS も若い人たちの参加でいろいろ発信したが、周知には時間が足りなかった。

・応援、宣伝、ボランティアなど、公式 LINE などを使って新しい繋がりはできてきた。

今後の運動につなげて

・昨年 12 月から始まった「市政を考える会」は、5 回にわたり市政についてみんなが知りたいこと、知ってほしいことをテーマに市民活動を行っている方たちにレポーターになっていただき、市政を身

近に考える良い機会となった。

第 1 回 街の緑はどうなっている？

第 2 回 市民参加はどれだけ実現している？

第 3 回 子どもたちが生き生き育つまちづくり

第 4 回 平和都市宣言のまちづくり

第 5 回 『対話による行政』で暮らしはどう変わったか～杉並区に学ぶ～

この活動は市内の活動団体とのつながりを広げていくきっかけになり、とても大事。

・できれば月 1 回は定期的に学習会を開き、市長選の政策に掲げた内容などをテーマに深めていけると良い。

・子どもの貧困や子どもの権利について、狛江市の現状が知りたい。

・学校も変わろうとしているという話を聞いたが、現場や保護者から聞きたい。

・みんなに知らせる方法をもっと工夫して多くの人に参加してもらうようにすることが必要。

・9 の日、平和行進、3 の日スタンディングなどに新しい人、若い人が参加して、スピーチもしてくれている。デモカレンダーの影響。SNS の活用も習熟が必要。

みなさんが感じられたことや、提案、いろいろあると思いますので、ぜひご意見をお寄せください。

なお、「こもれび狛江 市民の会」は選挙終了に伴い解散いたします。ご支援、ご協力ありがとうございました。これからも市民の声が届く市政を目指して一緒に運動を広げていきましょう。

「こもれび狛江 市民の会」報告会(7/8)から

「こもれび狛江 市民の会」は選挙終了後に報告会を行いました。お声掛けが間に合わず来れなかった方もおられると思います。多くのみなさんの発言から一部をお伝えします。(周東)

立川：初めて候補者という名前でマイクを握った。でも自分の本当にやりたいこと、伝えたいことは言い切ったと思う。選挙運動のやり方も変わっていくだろう。市民運動をしながら、みなさんと一緒にやっていきたい。正々堂々、政策で闘えたと思う。

*知り合った頃、朝早くから夜遅くまで働いているのに、換気扇のお掃除が上手で感心した。身近なところから広い視野を持った人。こういう人が立候補してくれて自分の声を届ける先ができた。

*生物多様性WGや市民大学などいろいろ勧めてもらった。図書館の問題は、世田谷の公園づくりで、当初反対していた住民も区と一緒に考えて公園を造ったと聞いた。狛江も立派なプランを作ったのにひっくり返された。小さな自治体は我々が投げかけると返ってくる。マンションの理事会は最小の自治体。立川さんが選挙に出たことでいろいろ考えた。周囲に良い影響があった。これからじわじわと広がっていく。繋がっていくお手伝いをしたい。

*他の候補が言わないことを言ってくれたので応援させてもらった。動画などを作った。

*かつて学童に入れない子が多く定数を増やしてくれと運動した。中学校給食は12000筆の署名を集めた。矢野市長になって実現した。市長が変われば願いが叶う。100歳まで頑張る。

*立候補発表から期間が短くて名前を浸透させられなかった。地域では宣伝の声を全く聞かなかったという人もいる。宣伝の仕方もっと考えて。矢野市政の時のように市民の声が届く市政ができるといいねがみんなの声。立候補してくれてよかった。

*大健闘だったと思う。第1声の時は大丈夫かなと心配だった。1週間でこんなに変わるのか、70歳過ぎても成長できるとびっくりした。前向きに動くことが人を成長させるんだと思った。

選挙制度のせいで告示後はポスターに名前も顔

写真も出せないのは頭にきた。

市政学習会をもっと活かしたらよかった。市民活動でいろいろな人と手をつないでいきたい。

*初めての経験にもかかわらず堂々としていた。松原市政のやってこなかったことがはっきりした。市民の要求を聞く市政をという思いは伝わった。

*ちょっとしたご縁で巻き込んでいただいてありがとう。今の日本の政治に怒りまくり、打ちのめされていた。生活者目線が素晴らしい。みなさんの発言からも換気扇、学童など出されていた。戦争しないことが大事。語りかけるような選挙だった。

*最近の付き合いだがグッと引き込まれた。自分が生活している場で大事なことを知った。

*今回は深く関われなかったが、周りが立川さんに引き寄せられた。現状の市政が市民にとってどうなのか伝えられた。今後も市政を良くするためにやっていきたい。

*樹林地と一緒に活動。語りかけるような口調がよかった。平和と緑を政策に掲げてくれた。狛江の中に木陰を増やして、水と緑を一步進めて木漏れ日の下でつどうという政策は暑さ対策にもつながる。これからも政策を活かしていけたらと思う。

*どうせ出ると決めたなら楽しく選挙をやろうと言っていたができたかな。自治体からの平和の発信でぜひ9条の碑を狛江にも造りたい。

*びっくりした。そのあと着々と進んで行ったので、またびっくり。出馬してくれたことはすごい決心。今でも敬意を表する。

*出てくれてありがとう。応援したい候補者、掲げた政策、選挙で訴えたことで松原氏も動いた。立川さんは平和・緑を大事な政策として表に出してきた。続けていくことが大事。がんばろう。

立川せつ子さんと市民センター増改築で十数年ともに活動してきた者として

和泉本町 西尾真人

選挙結果は非常に残念な結果でした。それは「こもれび狛江 市民の会」（以下「こもれび」）の声明の通りです。票数だけ見れば惨敗と言っても良いかもしれませんが、選挙中のともに活動していた方々の生き生きとした振る舞いは心に深く残るものがありました。なにより、立候補することで選挙になりました。市民運動をしていましたがほぼ無名の新人で、演説とは程遠い、日常会話の延長の様な話し方で、接していれば信頼できる人と理解されますが、短期間ではインパクトは弱かったかもしれません。

1ヵ月前、しかも新しい団体を結成しての選挙で、「こもれび」としての組織体制ができているとは、はた目にも思えませんでした。結果として、住民投票で受任者になった方々を支援者の核にする広がりも組織的に作れませんでしたし、そういう発想も思いとしてはあったかもしれませんが、具体的にする余裕もないまま過ぎ去ったかと思います。

振り返れば、住民投票運動を行った2年前、議会

で否決された時点で市長選に立候補の準備ができていたら、状況は大きく変わっていたかもしれません。

もう一つ、選挙結果から感じることは日本の社会状況の変化です。市長選だけでなく、市議選、衆・参議員選挙などのここ20～30年の投票と得票の変化を分析する必要があると思いますが、短絡的な政党、右翼的な政党がSNSを利用して政治の世界に入り、一定の支持を得ている現状があることです。

小泉政権下で一気に進んだ新自由主義による労働の自由化の名による非正規雇用の増大が、脆弱な労働運動の中で、現在の若者とその親世代の貧困の増大につながり、落ち着いた生活環境が得られていないのではないかと、そうした背景が目まぐるしく動くデジタル社会にあって、一層あくどく金儲けしようとする資本に利用されていないか、などと案じています。

東京都内の首長選挙の底流

永山利和（元日本大学教授）

今年都内の首長選挙は時系列で、町田市(2月)、日野市(2月)、清瀬市(3月)、多摩市(4月)、練馬区(4月)、中野区(6月)、立川市(6月)、杉並区(6月)、狛江市(6月)、調布市(7月)、あきる野市(7月)の11区市で実施された。これらの選挙結果を漠然と総括すると、国政選挙結果とは大きく異なる。結果は、11戦して5勝6敗で、勝率は45.5%ある。過半数に迫る結果だった。

国政選挙結果とは異なり、改憲、大企業優先、市場主義の6区市長に対し、護憲、生活優先、ジェンダー平等など多様な主体を尊重する5首長が選出された意義は大きい。対中・ロ等に対する軍事的緊張に同調を試みる闘う高市政権のお膝元の首都で、しかも前回都知事選では20人を超える首長集団が小池再選を画策した(主力は多摩地域)首都での選挙結果である。その評価は、“小池ショック”と呼ぶべき練馬区、激戦の予想に反して圧勝した杉並区、共産党市議から勝利した清瀬市、安定した多摩市、

大規模施設改修問題に取り組み、複雑な課題を抱える中野区など、立憲・護憲、平和と人権問題以外に住民が求める各自治体の具体策が、それぞれ独自の工夫をこらして得た選挙結果である。

5勝した各選挙結果を検討する能力はない。重要なことは5勝が立憲民主党の中道改革連合の混迷で、政党の政治的、社会的意義が改めて問われたが、その負いを乗り切り、選挙者自体が事態打開の芽を掴み取った市民と野党共闘の新たな展開。それが5勝の底流にある。この底流は鮮度の高い、独自の政策と新興する選挙者参加が引き起こした膨らみがある。正義、平和、護憲そして減税等の全国原理が影響力を発揮しきれなかったかに見える。むろん原則は基本で、重要だ。原則の上に住民生活が現に係る各自治体で推進すべき政策課題を決り取った選挙戦。市民と野党の共闘とともに選挙者が望む課題を独自に提示し、行動した度合、それが成否を分けた。

市議会第二回定例会（5/21～6/19）

暮らし支援の補正予算ゼロ！

市議会第二回定例会が5月21日から6月19日の日程で行われました。初日の補正予算の質疑では、岡村議員が「補正予算に市民生活や事業者支援の予算が入っていないのはなぜか」「今議会での追加補正の提出など早急に対応すべきだ」とたたしました。狛江市は「国や都の支援等の動向も踏まえ適切に対応する」と答弁をしましたが、残念ながら定例会の中では追加補正予算の提出はありませんでした。

日本共産党狛江市議団の一般質問では、岡村議員の市長の政治姿勢の質問では、財政、市民参加に加え、平和関係の質問も行いました。ロシアのウクライナ侵攻の時に狛江市が抗議したように、アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議するように求めましたが、松原市長は「アメリカは領土を取りに行っていない」と抗議しようとはしませんでした。イラン戦争は7月22日現在でも収束は見え、多くの犠牲者が出ています。領土を取ろうとしているかにかかわらず、狛江市平和都市宣言の理念に沿って抗議を行うべきです。

また、狛江市の平和事業が26市の中でもかなり少ないという問題についても質問も行いました。過去3年間の事業費で見ると、多摩26市の平均が23年度273万円、24年度316万円、25年度384万円となっています。

狛江市では、23年度3万1千円、24年度54万円、25年度13万9千円と桁が1桁、2桁違ってきます。現在の世界情勢を見れば、平和事業の予算は早急に拡充するべきです。

平和問題以外でも、市民参加のまちづくりが後退していることの指摘や、学童保育の待機児が多いことから、市の責任で整備することを求めました。

荒木議員からは、新設道路や公園の緑と木陰を増やす取り組みを進める提案や、不登校や難聴の児童生徒への支援の提案がされました。

宮坂議員からは、低所得者への10万円のエアコン補助について期限延長を求め、答弁では「検討」でしたが、その後、実現することが出来ました。また、補聴器購入の補助額引き上げについても要望しました。

西村議員からは、中小業者への緊急融資を求めました。また、農業者への支援は「必要な支援のありかたを検討する」と前向きな答弁が出されました。

総務文教常任委員会には、東京土建狛江市部から「中東情勢に伴う建設資材高騰等への対応を求める陳情」が提出されました。日本共産党狛江市議団などが賛成をしましたが、自民、公明、分・維新等が反対し否決されました。

最終日には、自民党明政クラブから皇室典範の早期改正を求める趣旨の陳情が出されました。宮坂議員は「男系男子に限定するのは男女平等を掲げる憲法に反する」「国民の総意形成が国会の責務」と討論で反論しましたが、自民、公明、分・維新などの賛成で可決されました。

待機児解消へ 民間任せでなく 市の責任で学童クラブ増設を



東野川学童保育所

待機児数がワースト2
保護者がお仕事・病気等で、家庭でお子さんを見ることのできない世帯の子は学童クラブに入所できます。
しかし希望しても入れない子が昨年は89名（10月1日現在）もいました。これは多摩26市でワースト2です。今年度も98人。入れなかった子は、1人で家にいたり、マンション等を利用したりしています。が、仕事を辞めざるをえなかった保護者もいます。
市は「民設民営の学童クラブの誘致を検討していく」としていますが一方、「事業者自らが物件を確保する必要があるが、適した物件の確保が難しい」（市答弁）状況です。
多摩26市中12市が待機児ゼロです。日本共産党は岡村しん議員が「市として整備していくことも考えていただきたい」と強く求めました。

学童クラブの待機児数 98人（2026年度）

学区	一小	三小	五小	六小	和泉小	緑野小	合計
待機児数	22	16	40	10	0	10	98
うち低学年	7	1	31	5	0	1	45

*表は6月4日の岡村しん議員への市の答弁をもとに作成

日本共産党狛江市議団ニュース 2026/7・8 より転載

8月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

※本紙に折り込んでほしいピラなどは、260部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(月) 17時～18時	狛江駅前北口 広場	Silent Standing	平和憲法を広める狛江連絡会
5日(水) 9時～	市議会議場	臨時市議会	
9日(日) 17時～18時	狛江駅前	9の日行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
14日(金) 10時～	みんなの広場	「豊かな狛江」9月号 編集 会議	
20日(木) 16時～	中央公民館 多目的室3	《平和憲法を広める狛江連 絡会》《こまえ九条の会》 合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
24日(月) 14時～	東京土建狛江 支部会館	戦争なんてイヤだ！狛江市 民実行委員会	各加盟団体の皆さんは、ご出 席ください。
26日(水) 10時～12時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協 事務局・役員会	
26日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の 会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部 が中心。第4水曜日。
31日(月) 14時～16時	みんなの広場	拡大世話人会	
9月1日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 9月号の製本・仕分け作業	世話人以外の方の参加歓迎で す。



こまバス的大幅減便 小田急バスが市に要望

1日18便が9便に半減! 朝7~8時台、夕方4時以降の便なし

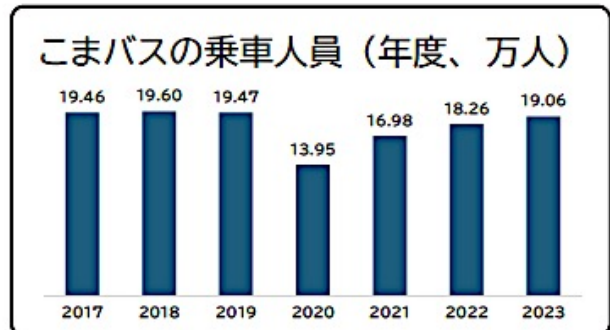
☆7/29 の狛江市地域公共交通会議で話し合い

7月24日開かれた市議会建設環境常任委員会で、10月1日からこまバスを大幅減便することについて小田急バスから市に要望があったと報告されました。

減便内容は下表のとおりで、1日18便あったものが1日9便へと半減します。午前7時台と8時台、午後4時以降は便がなくなります。減便の理由について小田急バスは「運転士の確保が困難な状況が続いていることから」としています。

しかし、こまバスは2008年度の運行開始以来19年間、市民の大切な移動手段として定着し、毎年20万人近くの方が利用しています。

市としての財政支出や東京都への支援要請、小田急バスとの再協議等、あらゆる手立てをとって、こまバス的大幅減便を中止するように市に要望しましょう。



地域公共交通会議委員構成

狛江市

都市建設部長

福祉保健部長

教育部長

子ども家庭部長

交通事業者

小田急バス株式会社

京王電鉄バス株式会社

一般社団法人東京バス協会

小田急バス労働組合

小田急電鉄株式会社

一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会

道路管理者

東京都建設局北多摩南部建設事務所

公安委員会

警視庁調布警察署

地域公共交通の利用者

老人クラブ連合会会長

町会自治会連合会会長

PTA連合会会長

学識経験者

地域交通法・道路輸送法担当

国土交通省関東運輸局東京運輸支局

都の広域交通

東京都都市整備局都市基盤部交通企画課

隣接自治体

調布市交通対策課長

世田谷区交通政策課長

狛江市社会福祉協議会

小田急バスが市に要望したダイヤ改定

狛江駅北口乗り場の時刻表

北ルートも南ルートも同じ時刻表

現行	改定案 10/1 ~
6	
7 15 45	1
8 00 45 45 45	2
9 30 45	1 30 45
10 15 45	1 15 45
11 00 45 45 45	2 00 45 45 45
12 30 45	1 30 45
13 15 45	1 15 45
14 00 45 45 45	2 00 45 45 45
15 30 45	1 30 45
16 15 45	1
17 00 45 45 45	2
18 30 45	1
19 15 45	1
20 30 45	1
21	

聴いて語ってつながる未来

～コマエでつむぐ平和のカタチ～

こまえ平和フェスタ 2026 に来場を

日時：9月6日（日）13：30 開演

場所：エコルマホール

★5人の高校生による座談会「いま平和について
思うこと」

★5人の中学生による朗読劇「日本国憲法と私たち」

★多数の小学生が参加するこまえ平和フェスタ合唱
団による「ドレミの歌」「見上げた空から」

多数のご来場をお待ちしています。

展示は8月17日（月）から始まります。

こまえみらいテラス2階ショーケース

こまえくぼ展示スペース（1階）

3の日 Silent Standing

7月3日のスタンディングには、デモカ
レンダーを見て若い女性が川崎、調布、
藤沢から3人も！総勢9人となりました。



九の日行動

7月9日（木）17時半からスピーチと署名
を行いました。参加者19名、署名28筆。
2名の女性がデモカレンダーを見て参加。
スピーチで署名をしましょう、国会前に行
きましょうと呼びかけてくれました。国会
の様子を見るにつけ不安な思いの若い方
たちも署名してくれました。



7.11 2026 こまえ平和行進

7月の平和行進は暑さを避けるため、それぞ
れの地域のやりやすい時間帯で行うことになり、狛
江では7月11日（土）の10時から駅前集会、11
時からデモ行進を行いました。大熊さんのギター
に合わせ「水と緑のまち」、峠三吉の「ちちをかえ
せ、ははをかえせ」の詩をアメージンググレース
の曲に合わせて歌い、原爆詩集より「墓標」の朗
読を織り交ぜて平和への願い、平和行進、署名へ
の協力を訴えました。最後に荒木恵美子さんのコ
ールに唱和して終了。参加者50人。その後南口か
ら平和行進の旗を先頭にデモ行進。途中手を振っ
てくれる親子連れもあり、32℃を超える暑さの中
35人が元気に30分の行進を行いました。



No War！ なくそう核兵器！
守ろう憲法9条！
誰もが平和に生きられる社会を！

8・3 Silent Standing

3日（月）17時より
狛江駅北口にて
平和憲法を広める狛江連絡会

九の日行動

9日（日）17時より
狛江駅北口にて
戦争なんてイヤだ！ 狛江実行委員会

核兵器のない
平和で公正な世界を



2026 World Conference against A&H Bombs

 原水爆禁止
2026年世界大会

原水爆禁止日本協議会

8月6日～9日

狛江の風物誌



写真は2021年6月の飯田農園。奥の方が現在は市民農園（市民に貸出）になっています。現在市内には9か所の市民農園があります。市民農園やこうした農家さんの農園が、多摩川や野川だけに依存しない狛江の緑や空間を支えているように思います。
（和泉本町 西尾真人）